

平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ダイケン

 コード番号 5900 URL <http://www.daiken.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 北脇 昭

TEL 06-6392-5551

四半期報告書提出予定日 平成22年10月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	4,505	△5.5	175	785.0	184	—	45	—
22年2月期第2四半期	4,767	—	19	—	16	—	0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	7.78	—
22年2月期第2四半期	0.13	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	11,737	9,306	79.3	1,583.54
22年2月期	12,730	9,331	73.3	1,587.73

(参考) 自己資本 23年2月期第2四半期 9,306百万円 22年2月期 9,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	1.2	450	14.9	450	19.7	225	14.2	38.28

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期2Q	5,970,480株	22年2月期	5,970,480株
② 期末自己株式数	23年2月期2Q	93,238株	22年2月期	93,238株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年2月期2Q	5,877,482株	22年2月期2Q	5,877,585株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. その他の情報	P. 3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
【第2四半期累計期間】	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
4. 補足情報	P. 9
(1) 生産、受注及び販売の状況	P. 9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の旺盛な消費需要に関連した輸出関連企業の好調と共に、景気政策によって一部好調に推移したものの、世界的な金融危機の深刻化、円高の進行による影響も加わり、輸出や生産の減少による企業の設備投資の抑制、雇用情勢の悪化等、経済活動全体を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いております。

建築金物業界におきましては、主力市場であります建築・設備の業界におきまして、公共工事は補正予算の執行により若干の増加があるものの、民間工事や設備投資の低迷に加え、新設住宅着工戸数は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、建築金物関連につきましては、ビルの新築市場が低迷しているため、外装ルーバーやアルミ笠木等の使用される物件数が減少し、大変厳しい状況となりました。

一方、戸建住宅は支援策を受けて比較的好調であり、この分野で使用される高付加価値タイプの天井点検口やホーム点検口は厳しい情勢の中では健闘いたしました。

また、エクステリア関連につきましては、中小規模の賃貸集合住宅の新築着工戸数は比較的堅調に推移したため、自転車置場やゴミ収納庫の販売は、企業間競争がますます厳しい状況ではありますが、現在品揃えを含めた対応で取り組んでおります。

当社は高止まりしておりました一部の材料価格の値下がりと共に、生産工程の改善等による製造経費の低減や、製品在庫の数量削減を進め、製造原価や配送コスト等の販売管理費の削減に取り組んでまいりました。

また、取引先や関連業界の展示会にも参画し、販売先へ緊密な営業活動を進め、収益の確保に取り組みましたが、販売の回復は厳しい状況となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては45億5百万円となりました。利益面では製造経費や販売管理費の削減に取り組んだ結果、営業利益は1億75百万円、経常利益は1億84百万円となりました。当四半期純利益は、減損損失43百万円や投資有価証券評価損27百万円等の特別損失を計上したため45百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ9億92百万円減少し、117億37百万円となりました。これは、売上の減少に伴い売上債権が9億46百万円減少したことが主因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ9億67百万円減少し、24億30百万円となりました。これは、仕入高の減少に伴い仕入債務が4億10百万円減少し、更に短期借入金も2億57百万円減少したことが主因であります。

なお、純資産は、前事業年度末に比べ24百万円減少し、93億6百万円となりました。これは、利益剰余金が第2四半期純利益により45百万円増加したものの、前事業年度に係る配当金の支払により70百万円減少したことなどから、24百万円減少したことが主因であります。この結果、自己資本比率は79.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少4億1百万円などにより支出増となったものの、税引前四半期純利益1億13百万円、売上債権の減少9億46百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて4億30百万円減少し、5億55百万円の収入となりました。

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、機械装置などの有形固定資産の取得による支出1億2百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて29百万円支出が減少し、1億15百万円の支出となりました。

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額1億50百万円、長期借入金の返済1億7百万円及び配当金の支払70百万円により、前年同四半期累計期間に比べて3億47百万円支出が減少し、3億27百万円の支出となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ1億2百万円増加し、7億76百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成22年4月12日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度決算において採用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,511,653	1,409,039
受取手形	1,508,776	1,958,419
売掛金	1,472,936	1,969,656
商品	3,846	3,513
製品	579,611	580,547
原材料	278,917	290,713
仕掛品	151,689	158,716
貯蔵品	21,309	22,186
繰延税金資産	83,478	101,793
その他	48,046	12,763
貸倒引当金	△597	△1,966
流動資産合計	5,659,666	6,505,383
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,434,911	2,499,807
機械及び装置（純額）	296,351	293,887
土地	2,206,887	2,248,027
その他（純額）	173,081	189,265
有形固定資産合計	5,111,232	5,230,988
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	267,873	292,321
関係会社株式	20,000	20,000
保険積立金	503,356	498,251
破産更生債権等	25	25
繰延税金資産	13,414	12,440
その他	146,033	154,102
貸倒引当金	△31,149	△30,649
投資その他の資産合計	919,553	946,492
固定資産合計	6,077,770	6,224,700
資産合計	11,737,437	12,730,083

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	270,456	470,055
買掛金	1,090,624	1,301,304
短期借入金	312,500	570,000
未払金	113,428	191,616
未払法人税等	54,956	181,945
未払費用	118,803	129,124
賞与引当金	140,987	148,361
役員賞与引当金	10,000	10,000
その他	59,392	145,314
流動負債合計	2,171,148	3,147,721
固定負債		
役員退職慰労引当金	193,425	186,175
その他	66,029	64,696
固定負債合計	259,454	250,871
負債合計	2,430,603	3,398,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	481,524	481,524
資本剰余金	250,398	250,398
利益剰余金	8,631,730	8,656,557
自己株式	△53,520	△53,520
株主資本合計	9,310,132	9,334,959
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,298	△3,469
評価・換算差額等合計	△3,298	△3,469
純資産合計	9,306,834	9,331,489
負債純資産合計	11,737,437	12,730,083

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	4,767,732	4,505,177
売上原価	3,328,881	2,994,393
売上総利益	1,438,851	1,510,783
販売費及び一般管理費	1,419,021	1,335,294
営業利益	19,829	175,489
営業外収益		
受取利息	952	339
受取配当金	8,221	6,076
助成金収入	11,305	11,018
その他	7,334	9,418
営業外収益合計	27,813	26,852
営業外費用		
支払利息	7,000	1,981
売上割引	11,556	11,792
為替差損	6,679	—
休止固定資産減価償却費	—	4,428
その他	5,583	22
営業外費用合計	30,818	18,225
経常利益	16,824	184,115
特別利益		
貸倒引当金戻入額	32,280	1,369
特別利益合計	32,280	1,369
特別損失		
たな卸資産評価損	38,121	—
減損損失	—	43,461
投資有価証券評価損	—	27,463
その他	1,804	1,072
特別損失合計	39,925	71,997
税引前四半期純利益	9,178	113,487
法人税、住民税及び事業税	8,314	50,562
法人税等調整額	106	17,226
法人税等合計	8,420	67,788
四半期純利益	757	45,699

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	9,178	113,487
減価償却費	169,741	161,648
たな卸資産評価損	38,121	—
減損損失	—	43,461
投資有価証券評価損益(△は益)	—	27,463
引当金の増減額(△は減少)	△39,286	△992
受取利息及び受取配当金	△9,174	△6,415
支払利息	7,000	1,981
売上債権の増減額(△は増加)	1,076,622	946,368
たな卸資産の増減額(△は増加)	332,416	20,303
仕入債務の増減額(△は減少)	△586,006	△401,666
その他の資産の増減額(△は増加)	△21,826	△31,081
その他の負債の増減額(△は減少)	△9,533	△95,361
未払消費税等の増減額(△は減少)	84,296	△66,239
その他	12,225	10,100
小計	1,063,774	723,059
利息及び配当金の受取額	9,111	6,502
利息の支払額	△6,604	△1,557
法人税等の支払額	△80,296	△172,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	985,984	555,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△137,487	△102,334
有形固定資産の売却による収入	10,002	28
定期預金の預入による支出	△735,000	△735,000
定期預金の払戻による収入	735,000	735,000
その他	△17,304	△13,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,789	△115,393
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△450,000	△150,000
長期借入金の返済による支出	△155,000	△107,500
自己株式の取得による支出	△292	—
配当金の支払額	△69,675	△70,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	△674,967	△327,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,517	△10,078
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	156,710	102,613
現金及び現金同等物の期首残高	725,994	674,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	882,704	776,653

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

品 目	前年同四半期 (平成22年2月期第2四半期)		当四半期 (平成23年2月期第2四半期)		比較増減 (△は減)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
建築金物	1,041,888	39.2	1,065,326	41.5	23,438
外装用建材	341,977	12.9	280,077	10.9	△61,899
エクステリア	1,236,172	46.6	1,195,490	46.5	△40,681
その他	34,060	1.3	28,716	1.1	△5,344
合 計	2,654,098	100.0	2,569,610	100.0	△84,488

(注) 1 金額については、製造原価で記載しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

品 目	受注高		受注残高	
	金額(千円)	前年同期比(%)	金額(千円)	前年同期比(%)
外装用建材				
外装パネル	45,700	74.9	24,418	39.2

(注) 1 当社は、外装用建材の外装パネル以外の品目は見込生産で行っております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

品 目	前年同四半期 (平成22年2月期第2四半期)		当四半期 (平成23年2月期第2四半期)		比較増減 (△は減)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
製品・商品					
建築金物	1,889,619	39.6	1,890,705	42.0	1,086
外装用建材	703,344	14.8	528,827	11.7	△174,516
エクステリア	1,662,063	34.8	1,634,119	36.3	△27,943
その他	423,794	8.9	367,950	8.2	△55,843
小計	4,678,820	98.1	4,421,603	98.2	△257,217
不動産事業収入	88,911	1.9	83,573	1.8	△5,338
合 計	4,767,732	100.0	4,505,177	100.0	△262,555

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。